

プレスリリース [2019年12月13日]

～町田市文化プログラム認証事業～
「江戸切子の世界 現代江戸切子の技と美」展 開催

江戸切子作家の故・須田富雄（元江東区無形文化財、1924-2013年）と堀口徹（伝統工芸士、1976年-）らの作品24点を初公開します。

現代の江戸切子で用いられているカット（切子）の技術は、日本がヨーロッパのガラス製造法を取り入れた明治時代に、イギリス人技師エマニエル・ホープトマンによって伝えられました。その流れをひく現代の江戸切子職人たちは、伝統を守りながらも、斬新なデザインで世界に挑戦するなど、江戸切子の新たな魅力を開拓・発信しています。



須田富雄 《江戸切子 茄子紺被花縁菊籠目文大皿》 2004年 町田市立博物館蔵

作品は、2011年に市立博物館で開催された「江戸切子」展への出品がきっかけとなり、2017年度に町田市に寄贈されたものです。

- 会期：1月15日（水）～26日（日）※月曜日休館 午前10時～午後5時
- 会場：市立国際版画美術館 市民展示室（原町田4-28-1）
- 観覧料：無料

【関連イベント】

(1)体験講座「ガラスに彫ってみよう！」

- 日時：1月18日（土）午後1時～2時、午後3時～4時
- 会場：市立国際版画美術館 アトリエ
- 講師：ガラス作家・後閑^{ごかん}博明^{ひろあき}氏、コーディネーター・大月ヒロ子氏
- 対象：小学3年生以上 ※小学3～6年生は保護者同伴（保護者は見学のみも可）
- 定員：各回16人（申し込み順）
- 参加費：500円

(2)学芸員によるギャラリートーク

- 日時：1月22日（水）、26日（日）午後2時～2時30分
- 会場：市立国際版画美術館 市民展示室
- 定員：各回20名程度（先着順）

■ 本件に関するお問い合わせ先

文化スポーツ振興部文化振興課 博物館 副館長 今井 TEL 042-726-1531